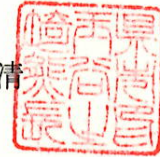


大幡支店地区において、人と農地の問題解決のための会合が行われ、その結果に基づき人・農地プランを決定したので、下記のとおり公表する。

平成31年3月8日

熊谷市長 富岡 清



記

1. 会合の対象とした区域
大幡支店

2. 会合の結果を取りまとめた年月日
平成31年3月6日

3. 今後の地域の中心となる経営体の状況

○ 経営体数

法人	1 経営体
個人	7 経営体
集落営農（任意組織）	1 組織
合計	9 経営体

○ 農地の集積面積

7.3ha（区域内の農地面積 169.6ha、集積率 4.3%）

4. 今後の地域農業の在り方

地区の形状とすると、小曾根より柿沼の方が道幅は広いが、柿沼は商業施設建設の可能性もあるため、基盤整備に乗り出せるか。（50年ほど前に反対があった。）

農地中間管理事業を実施するとすれば、国道17号北側の柿沼辺りだが、地権者の理解を得るのは難しいと考えられる。また、基盤整備を実施していないため、10年後の後継者、担い手がない。

基盤整備を実施すれば、新規就農者等の借り手が出てくる可能性がある。また、当地区は、国道17号に近く、交通の便が良いため、企業参入も視野に入れ、検討する。

また、基盤整備せずとも借り受ける担い手がないか、他地区も含めて探す必要がある。